

単元名

安心・安全なまちづくりのために

【関連のある SDGs の目標】



【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
◎安心・安全なまちづくりのために自分たちにできることは何だろう。

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）
●地域の人々の防災意識を高めるために自分たちにできることは何だろう。

【単元の目標】
宮園地区の地域の防災の取組についての調査活動や体験活動を通して、日頃からの備えの大切さに気づき、防災に対する意識の向上を図るとともに、自分や家族の命を守るために何ができるかを考えて発信することができる。

【連携諸機関・人物】
・宮園自主防災会
・宮園市民センター
・広島県減災推進課

★学習活動のアピールポイント★



＜防災倉庫見学＞＜各チームでリーフレット作成＞＜クイズ・すごろく・動画等＞ ＜みんなに伝えよう＞

- ・1学期に自主防災会や広島県減災危機管理課の方々のお話から地域の実態について課題を発見し、それを解決するために調査活動や体験活動を行った。収集した情報の中から必要な内容を選択し、発信する目的や伝える相手に合った内容にしようとして試行錯誤を繰り返しながらリーフレットにまとめ、3月に地域で行われる防災IN宮園で広く発信するという探究のサイクルを展開することができた。
- ・個々で発見した課題を比較・分類し、整理した内容ごとにグループで活動するという学習形態をとったことで、児童が主体的・計画的に活動した。
- ・社会（自然災害を防ぐ）や国語（キャッチコピーの作成や写真の活用）、家庭科（調理実習）など、他教科で学んだ知識や技能を相互に関連付けた。
- ・調べて分かったことや考えたことを、各グループがリーフレット1枚にまとめ、児童や保護者に配布した。非常食や生活雑貨を使った防災グッズの作り方を動画にしてまとめたり、楽しみながら防災の知識を得られるクイズやすごろくをつくったりするなど、相手意識や目的意識をもって表現の仕方を工夫することができた。

児童生徒の成長した姿（○）

- 調べたことやゲストティーチャーの話から得た情報をもとに相手や目的に応じて伝えたいことをリーフレットにまとめることを通して表現力が身に付いてきた。
- 課題の解決に向けて、主体的に情報収集をしたり、発信するための表現活動に取り組んだりすることを通して主体性が身に付いてきた。
- 災害はいつ起こるかかわからないからこそ、防災リュックや非常食の準備など、日頃からの備えを呼びかけ、自分や家族はもちろん宮園のみんなの安全を守りたいという意識が芽生えてきた。

児童生徒による振り返り（◇）

- ◇自分の身は、まずは自分で守ることの大切さや、備えの大切さ、日頃からの挨拶などでの人間関係の構築が、自分達や地域を守ることに気付いた。
- ◇防災リュックなど、準備をしていない家庭が多かったので、日頃からの備えが大切だし、もっと呼びかける必要があると感じた。
- ◇学校のみみんなにクイズをしたり、防災リュックを作ったり、非常食を見てもらったりして、防災について知ってもらえたのが嬉しかった。
- ◇3月の防災IN宮園では地域の方に備えの大切さを実感してもらいたいと思った。

